

# 「あらかわの心」ニュース



「あらかわの心」推進運動シンボルマーク

今号では、第10回を迎えた「あらかわの心」カルタ大会の様子や、参加団体の活動報告についてお届けします。



あら坊 ©荒川区2019F(30-0014) あらみい ©荒川区2019F(30-0014)

第26号

平成31年  
3月1日発行

第10回

## 「あらかわの心」カルタ大会

平成31年1月26日（土）、タヤけこやけふれあい館で第10回「あらかわの心」カルタ大会が開催されました。このカルタ大会は、「あらかわの心」カルタを使用し対戦するもので、子どもたちがカルタ遊びを通して「あらかわの心」推進運動について理解を深めてもらうことを目的としています。

当日は、52名の子どもたちが参加しました。学年ごとに、未就学児の部、低学年の部、高学年の部にクラス分けされ、対戦を行いました。「試合開始時に手は膝の上」、「お手付きは頭の上に手を置いて一回休み」といった「あらかわの心」カルタのルールを守りながら、競技を楽しみました。会場には、家族や友達も応援に駆け付け、大いに盛り上がりました。

競技終了後、上位入賞者（各クラス1〜8位）にはメダルが贈呈されました。また、「あらかわの心」としてふさわしい行動があった参加者には、「あらかわの心」賞として、あら坊・あらみいグッズが贈呈されました。

各部の優勝者及び「あらかわの心」賞の受賞者は左記のとおりです。

### 「優勝」

● 未就学児の部  
伊藤 幸彦さん  
(子供の家愛育保育園)

● 小学校低学年の部  
城 音愛さん  
(峡田小)

● 小学校高学年の部  
飛田 杏花さん  
(根岸小)

### 「あらかわの心」賞

岡部 柚里さん (第三日暮里小)

工藤 美咲さん (尾久第六小)



大会の様子



みんなで集合写真

東京荒川ライオンズクラブ  
幹事 茂木 弘

当日は好天にも恵まれ、朝早くからメンバー、お手伝いいただくボランティアスタッフの協力のうえ、料理等の準備を行い、障がいのある方・付き添いの方など120名ほどのお客様をお迎えました。

お客様には、ダンスや歌、おいしい料理を楽しんでいただき、とても楽しく過ごしていただきました。

には生涯学習センターをお借りして、第22回福祉レクリエーションを行いました。



多くの方々にご参加いただきました

私たち東京荒川ライオンズクラブはいろいろなボランティア活動を行っています。特に、障がい者支援は全国でもトップクラスと言われています。

平成30年10月21日（日）

福祉レクリエーション



たくさんの方々が楽しんでくれました

バルーンアートを使ってキャラクターを作っていました。そのあと「蜂」や「ブードル」などが出来上がり、子どもたちがとても楽しい体験活動になりました。

尾久地区青少年団体連絡会  
会長 横山 佳世子

平成30年10月20日（土）、午前10時に尾久地区の小中学生の家族とバルーンアート体験をしたい150組の親子が赤土小学校の体育館に集まりました。今回の講師には、スマイルアース代表の小菅先生にお越しいただきました。親子たちは、何ができるのかと興味津々といった嬉しそうな表情で期待を膨らませて先生の講義を見つめていました。

シニアの楽しい班分けゲームで、すっかり仲間意識を持ちながら和気あいあいとした雰囲気の中でスタートしました。

ポンプを使って細長い風船を一口气に膨らませて、しぼって、ひねるといった初めての体験ながら、「刀」が出来上がる時、子どもたちは早速「刀」を使ってチャンバラごっこに興じていました。そのあと「蜂」や「ブードル」などが出来上がり、子どもたちがとても楽しい体験活動になりました。

第12回 ファミリー体験

### クイズ/アンケート

クイズとアンケートの両方にお答えください。正解者の中から5名の方に「あらかわの心」推進運動定規セットをプレゼント致します。郵送がメールで応募してください。

● 郵送の場合  
はがきに、住所、氏名、電話番号、クイズの答えとアンケートをご記入の上、下記までお送りください。

〒116-8501  
東京都荒川区荒川2-2-3  
荒川区子育て支援部児童青少年課内  
あらかわの心ニュース  
「クイズ/アンケート」係

● メールの場合  
メールの件名を右記のようにして、住所、氏名、電話番号、クイズの答えとアンケートをご記入の上、下記までお送りください。

メール件名：あらかわの心「クイズ/アンケート」係  
Eメール：arakoko@city.arakawa.tokyo.jp

● 締め切り  
2019年6月15日。当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

なお、いただいたご意見は、ニュース等の広報誌でご紹介させていただくことがありますので、ご了承ください。

クイズ  
〇〇の中に入る言葉は何でしょう？  
「あらかわの心」推進運動のシンボルマークは、「あいさつ」「〇〇〇」「思いや

り」「体験」「見守り」の5つのハートで作られています。

アンケート  
①このニュースはどこで手に入れましたか。  
②もっとも興味・関心をもった記事は何ですか。  
③その他、ご意見・ご感想等がありましたら、お願いします。



定規セット

第26号 平成31年3月1日発行  
発行 「あらかわの心」推進運動区民委員会事務局  
〒116-8501 荒川区荒川2-2-3(荒川区子育て支援部児童青少年課内)  
TEL.03-3802-3111(内線3833) FAX.03-3802-3174  
(Eメール) arakoko@city.arakawa.tokyo.jp  
(ホームページ) https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kosodate/kyoiku\_seishonen/suishinundo/index.html



正面入口の段ボール電車

平成30年12月15日(土)、第1回子ミニコミュニティフェスタがゆいの森あらかわで開催されました。

このイベントは、荒川区の子もたちがニコニコ元気に育つようにと、地域教育力向上支援事業に参画したこのある17の団体が集結して、日頃の地道な活動の一端を紹介するものです。各コーナーでは、「手話」「講芝居や映像を見るコーナー」「体験コーナー」や「紙芝居や映像を見るコーナー」「バルーンアート」「石アート」木の実や古布活用のクリスマスリース、貝殻のアクセサリー等の物作りのコーナー「子ども困りごと相談」「参加団体の紹介コーナー」等、多種多様な催しを準備して子どもたちと楽しむことが出来ました。また、正面入口の段ボール電車や会場の飾り付け、案内チラシやパンフレット作りに才能を発揮したグループもありました。第一・第四中学校の中学生ボランティアの応援もあって、みんなで力を合わせて作り上げた見事なフェスタとなりました。開会式で西川区長の祝辞にもあった「子どもを育む大切さ」を心に置いて、子どもたちに寄り添う、大人達の連携の輪を広げていきたいと思っております。

第1回子ミニコミュニティフェスタ  
実行委員長 山崎 律子

### 荒川区保護司会受賞報告

荒川区保護司会は、平成29年度保護司等中央研修会において瀬戸山賞を受賞いたしました。この「瀬戸山賞」は更生保護施行50周年に当たり、1999年に故瀬戸山三男先生の御遺徳を偲び、御功勞を記念し、日本更生保護協会に創設されたものです。

故瀬戸山先生は法務大臣、文部大臣、建設大臣を歴任され、更生保護に深い理解を示され、永年にわたり更生保護事業の発展に大きく貢献されました。

荒川区保護司会は、保護司の確保が急務の中、西川区長の理解を得て、区の職員が保護司として各分区に1~2名委嘱されています。その結果、犯罪予防活動や区と連携した保護司会運営を実現することができ、先進的なモデルとして評価され受賞に至りました。

また、平成30年10月11日(木)、内閣総理大臣官邸において、内閣総理大臣表彰「安全安心なまちづくり関係功勞者表彰」を受けました。



安全安心なまちづくり関係功勞者表彰を受けました

この賞は、防犯活動を表彰対象としているものですが、本年度から再犯防止活動も表彰対象となり、全国8つの団体が推薦され東京都からは荒川区と大田区の保護司会が表彰の栄に浴しました。

荒川区保護司会

### 甲府オリオン・スクエア商店街への視察



視察の様子

かつて荒川区の商店街連合会には、47の連合会が加盟していましたが、現在では40に減少しております。そこで、少しでも現状を変えていくため、他県の商店街の今を見て、荒川区でも参考にできることがないものかと、商店街の役員と研修を希望する方々で、山梨県の甲府駅前にあるオリオン・スクエア商店街へ視察に行きました。駅前一帯は道路が甚盤の目のように整備されており、県の表玄関であると感じました。一角には、地域開発時に力のある商店が集まり、商業エリアとしてぎわいを作り出していました。各店を見ると資本力のある大手チェーンが目につきました。核となつている集合商店街の周りには廃業してしまつた多くの商店が駐車場になっていました。日本各地の商店街の現状を目的にしました。所々、店舗を見て歩くと、残っているほとんどの店舗が、特色のある個性的な品物を買っていました。個性を出している店として「おにぎりカフェ」「万年筆の修理と販売店」などがありました。

短時間での町の視察でしたが、それぞれの地域が町の個性を出して生き抜いていることが分かり、わが町も個性を持ちそれを打ち出していかなければならないと思えました。

荒川区商店街連合会副会長 杉山 六郎

### ビーチボールで親善を



みんなで楽しくビーチボール

青少年育成荒川区委員会では、育成部が主体となつて例年体育の日に「親善スポーツ大会」と銘打ち、峡田小学校のアリーナでビーチボールを行つています。

今年も「親子」5チーム、「フレンドリー」5チーム、「フレンドリー」5チームで行われました。勝負にこだわらずあくまで「親善」が目的ですが3位までのチームには賞品が出ます。結果、各クラスの優勝は「親子」「フレンドリー」「フレンドリー」峡田クロバース、「一般」峡田ふれあい館チームでした。

試合の他に各チームのプラカードコンテストもありこちらにも賞品が出ました。最後にみんなで、お借りしたアリーナをきれいに掃除してお返ししました。

青少年育成荒川区委員会

### 第21回モラロジ―生涯学習セミナー

平成30年10月13日(土)、荒川モラロジ―事務所では第21回モラロジ―生涯学習セミナーをサンパル荒川で開催しました。毎年この時期に行われるセミナーでは、道徳の必要性、重要性を参加者の皆様と共に学んでいます。今回は初参加の方が多く、大変有意義な時間を過ごしました。

参加者の皆様には、ただ良い事、道徳的な行動をするのではなく、『思いやりの心で行う道徳』が自分の幸せとして周りの幸せに繋がっていくことを感じていただけたらよかったです。

今年も9月にセミナーを開催する予定です。どなたでも参加出来ますので、皆様の参加を心よりお待ちしております。

また荒川モラロジ―事務所では区内の小学校の道徳の教科化にも協力させていただきました。今年度は小学校4、5年生対象に「家族のきずな」をテーマに作文を募集しました。沢山の応募があり、心温まる素晴らしい作品が多くありました。今後も荒川モラロジ―事務所では道徳を大切に活動をしてまいります。



セミナーの様子

荒川モラロジ―事務所 箕輪 佳能

### 荒川東西町会連合会 合同宿泊研修会

平成30年10月28日(日)~29日(月)、荒川東西町会連合会では、1泊2日の宿泊研修を開催しました。荒川区役所3階会議室に集まり、研修を受けた後に、午前10時に荒川公園をスタートし、歴史探訪を兼ねた旅が始まりました。

初日は東北の玄関口白河へ行きました。古代から奥羽の入口に小峰城があります。その優雅な姿の城には、その昔戊辰戦争で激戦を繰り返した悲慘の歴史がありました。場内では全国ラーメン合戦なるイベントが催され、戦国さながらの雰囲気を感じました。宿泊先の母畑温泉では、坂東武者の源氏の人のぬくもり、里のぬくもりを感じました。

2日目は五色沼尻沙門沼の紅葉と水面の美しさを見て、会津若松で白虎隊記念館を見学した後、飯盛山へ行き、ガイドよりこの山に伝えられている悲劇である白虎隊士の歴史を聞きました。日本を二分して戦つた戊辰戦争から150年、これからの地方再生、福島への復興を考える足掛かりとなりました。



小峰城にて

荒川西部町会連合会 副会長 今井 完